



古本 裕二（ふるもと ゆうじ）
昭和31年4月8日生まれ、60歳。山口県出身。55年3月、立命館大経済学部卒業。4月、協和銀行（現りそな銀行）入行。平成19年11月、矢作建設工業入社。20年4月、同常務執行役員。6月、取締役兼務営業統括本部長。21年6月、同専務執行役員（現）。24年4月、矢作地所代表取締役社長

矢作地所 古本裕二社長インタビュー

メーカーズ・ピア来春開業 集客ゾーンに変貌する名港の拠点

名古屋港区金城ふ頭に日本初の屋外型テーマパーク「レゴランド・ジャパン」が来春開業するが、同時に隣地に商業施設「メーカーズ・ピア（MP）」もオープン予定。「MP」を手掛ける矢作建設工業の不動産開発子会社、矢作地所（本社東区、古本裕二社長）はさらにその隣接地に商業施設とホテル建設をこのほど明らかにした。レゴランドを含め開発総面積は約一八万㎡、年間観光客は数百万人が見込まれる。観光拠点に生まれ変わる名古屋港の将来像を含め古本社長に聞いた。

——レゴランド地区の概要を教えてください。

古本 レゴランドはテーマパーク業界世界第二位の英マーリンエンターテインメント社が開設する日本初の屋外型テーマパークです。

敷地面積約九万㎡で昨年四月、着工。隣接地に「レゴランドホテル」（二五〇室）も建設中。

当社はレゴランド東側の約二万四〇〇〇㎡に商業施設「メーカーズ・ピア」をテーマパーク開発の英GCD S社日本法人と組んで建設中です。名古屋市の土地を五〇年借り受けました。金城ふ頭の緑を残しながら飲食・物販などの独立した約五〇〇店が揃うMPは体験型施設を目指し、店舗面積約七五〇〇㎡。体験型というのは例えばピザの店なら生地作り、陶磁器なら絵付けに参加するとかです。事業費は約三〇億円弱です。

——レゴランド地区の特徴は？
古本 そもそも同地区は、日本の三大都市圏である名古屋市とし

混雑によるストレスがかからないよう、収容台数五〇〇〇台の市駐車場と公共輸送機関のおおなみ線・金城ふ頭駅双方からの入り口に位置するMPでくつろいでもらえるよう工夫したいと思っています。

——さらに新たな施設を建設すると聞きました。

古本 メーカーズ・ピア南西の約七〇〇〇㎡に商業施設を、さらにその南約八〇〇〇㎡に客室数二〇〇〜三〇〇のホテルを建設予定です。ホテルはレゴランドホテルより宿泊料金を安く設定し、ファミリーや団体客を想定。すぐ西隣はポートメッセなごやが立地しており、ビジネス客への対応も視野にあります。いずれも来年末に計画を具体化させますが、開業は二〇一八年秋の予定。東京五輪の二〇二〇年に向け外国人観光客の集客も図ります。

——そのころには名古屋港も進化していますか？

古本 レゴランド開業初年は入場者数二〇〇万人を見込んでいます。すぐ東のリニア館が年間五〇

万人、ポートメッセなごやが一八〇万人。今後、ポートメッセなごやの整備と相まってこの地区の年間回遊者は六〇〇万人超となるでしょう。そうするとまず、おおなみ線の料金やダイヤの見直しを期待したい。

——さらに言えば、名古屋港水族館のあるガーデンふ頭の再観光拠点化が進み、金城ふ頭と船便で結べば、行きはおおなみ線で、帰りは船便・地下鉄というコースもあります。また金城ふ頭での大型旅客船発着が可能になる見込みであり更に、堀川・中川運河の水上交通も整備され、名古屋港エリア全体が回遊できる集客ゾーンに変わるでしょう。

リニアインパクトで沸く名古屋駅周辺だけでなく名城や伏見、栄なども含め、同時多発でエリア開発が進むことは街の力の現れで活性化につながります。

当社は名古屋地区の活性化に対し、前向きにとらえており、チャンスがあれば今後も我々ができることはぜひ積極的に取り組んでいきたいと思っています。



金城ふ頭の開発予定一覧

でも自分でボート漕いだり、消防士役で放水するなどの体験・参加型。初めは泣き出したりしますが、達成するとまた来たくなる施設。子供が楽しむ施設で、この点が東京・大阪の大人向けテーマパークとは異なります。国外七カ国に展開していますが、全て郊外立地であり、大都市では初めてです。

て世界的集客施設を誘致し、活性化しなかった所。そこへまず、東京・大阪にはない体験型エンターテインメント施設のレゴランドを誘致できた。金城ふ頭は、「モノづくり文化交流拠点」と位置づけられており、そのためにMPも「体験型」を加味した飲食・物販・エンターテインメントのテナントを誘致することに。エンタメ店は二割強ですが、IT・AI時代のなのでVR（ヴァーチャルリアリティ）を駆使した出店なども期待しています。お陰様で意欲的

な出店希望社は約三倍。現在、他では経験できないような体験型の具体化に向け工夫・調整をしていますが、年内には決定します。レゴランドは来年四月一日グラウンドオープンですが、実際には三月中旬から内覧会、年間パス客向けオープンもあり、メーカーズ・ピアは三月中旬開業予定です。レゴランドの年間パスは早い時期に発売と聞いています。一万七〇〇〇円とディズニースリーの六万円、USJ二万円に比べ割安感がありますから。またレゴお子様が自らが、壁を登ったり、水路